

# デザイン総合実習I(地域コミュニケーション・総合系)※人間空間デザインコース

必修 開講年次：2年次前期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：市民がより良く生きるための身近な暮らしに関する（1）課題の発見（2）解決策としての具体的なモノやコトの策定（3）プロジェクトの実施・運営について、身近な生活空間や家庭、町内などのコミュニティ内でのコミュニケーションを促進することをとおして実践的に学ぶ。

■**到達目標**：①資料や現地の調査、聞き取りやワークショップにより現状と課題を把握・分析することができる。  
②課題の本質を解明し、デザイン思考により効果的な解決策を策定することができる。  
③市民参加型の地域連携プロジェクト活動を運営・推進することができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎武田 亘明・片山 めぐみ・小宮 加容子

■**授業計画・内容**：

<p>第1部：テーマ：住宅において家族等のコミュニケーションを促進するためのデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視 点：コト＝会話、食事、遊び、モノ＝家具、間取り、コミュニケーションツール等</li> <li>・図書館での活動を含む</li> </ul> <p>第1回 地域コミュニケーションとまちづくりについて、課題企画テーマの説明</p> <p>第2回 事例の研究（資料調査）</p> <p>第3回 グループ活動（調査分析・課題の整理）</p> <p>第4回 グループ活動（方向性の明確化）</p> <p>第5回 グループ活動（企画の策定）</p> <p>第6回 グループ活動（企画の策定）</p> <p>第7回 グループ企画発表会（連携先招待）</p>	<p>第2部：テーマ：ご近所や沿道で出会う人とのコミュニケーションを促進するためのフットパスと屋外の休憩・交流場所などのデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視 点：コト＝散歩、地域交流、心と身体の健康、モノ＝フットパス。屋外休憩場所等</li> <li>・真駒内キャンパスでの活動を含む</li> </ul> <p>第8回 課題企画テーマの説明、グループ編成</p> <p>第9回 事例の研究（資料調査）</p> <p>第10回 グループ活動（現地調査・課題の整理）</p> <p>第11回 グループ活動（方向性の明確化）</p> <p>第12回 グループ活動（企画の策定）</p> <p>第13回 グループ活動（企画の策定）</p> <p>第14回 グループ活動（企画の策定）</p> <p>第15回 グループ発表会（連携先招待）</p>
--	---

■**教科書**：特に指定しない。適宜資料を配布する。

■**参考文献**：「ソーシャルデザインアトラス」鹿島出版会、2012  
「ソーシャルデザイン実践ガイド」英治安出版、2013  
「世界を変えるデザイン～ものづくりには夢がある」英治出版、2011  
「インクルーシブデザイン～社会の課題を解決する参加型デザイン」2014  
「デザイン思考が世界を変える」ティム・ブラウン、ハヤカワ・ノンフィクション文庫、2014  
「里山資本主義」藻谷浩介NHK広島取材班、KADOKAWA、2013

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度	○			積極的な協働	30
発表			○	効果的な提案	30
企画課題		○			30
出席		○		欠格条件：2/3以上	20
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：「札幌を学ぶ」「アイデア生成プロセス」「情報社会論」「コミュニティデザイン論」

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：